



医療機関からの初診事前予約について

ぜひご利用ください



お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

FAX予約の場合

FAX : 03-5803-0119  
(受付時間 8 : 30 ~ 16 : 00)



上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。  
速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信します。

電話予約の場合

TEL : 03-5803-4655  
(受付時間 8 : 30 ~ 16 : 00)



上記番号に、電話をおかけください。  
その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・予約希望日をお知らせください。

\*土日祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)、および受診日当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。  
\*時間外・休日などのお申し込み分は翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受診は24時間可能)



メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。当院ホームページより医療連携支援センターにアクセスし、オレンジ色の「メルマガ申込」からご登録ください。

## カルテ閲覧のご案内

連携医療機関様の大きな負担なしで利用可能です

インターネットに接続できるパソコンが1台あればOK!  
上記の要件を満たしていれば、既存の端末を使用しても構いません。



### 当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

#### 要件

- 1 インターネットに接続できる環境があること。また、PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
- 2 Microsoft Windows Vista/Windows 7 以上の動作環境にあるPCを使用すること。
- 3 Internet Explorer 7.0 以上が動作すること。
- 4 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。
- 5 PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader 10以上を使用すること。

★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます!

1. 申請書のご提出。
2. 提出頂いたのち、接続させて頂けるか検討いたします。
3. 決定後、順次連携医療機関様へ伺って、接続を行います。

※申込多数の場合は、利用するまでにお時間がかかる場合がございます。

連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391



JR東日本：中央線・総武線 御茶ノ水駅下車 御茶ノ水橋口(徒歩5分)

東京メトロ(地下鉄)：丸の内線 御茶ノ水駅下車東京医科歯科大学方面出口(徒歩1分) / 千代田線 新御茶ノ水駅下車 B1出口(徒歩7分)

東京医科歯科大学医学部附属病院 医療連携だより 17号(平成30年8月発行)

発行 〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院医療連携支援センター TEL:03-5803-4655 FAX:03-5803-0119  
<http://www.tmd.ac.jp/renkei/>

本書の無断複写(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。



国立大学法人  
東京医科歯科大学

医学部附属病院  
Tokyo Medical and Dental University

# 医療

# 連携だより



御茶の水通信

## No.17

- 東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針
- 理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院
  - 目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供  
2. 人間性豊かな医療人の育成  
3. 高度先進医療の開発と実践  
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター (地域連携室) TEL : 03-5803-4655  
FAX : 03-5803-0119



財団法人日本医療評価機構 認定病院



東京医科歯科大学  
医学部附属病院  
医療連携支援センター長  
(病院長補佐)  
泉山 肇

日頃より、地域医療連携に対し格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成30年5月、院内連携を充実させることにより、地域医療機関の皆様とのこれまで以上のスムーズな医療連携を構築できるよう、総合診療科沼沢祥行医師と角田由美子看護師長が副センター長に就任いたしました。何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度の診療報酬改定では、入院時支援加算が新設され退院支援加算も入退院支援加算に名称変更となりましたが、その内容は医療介護連携を積極的に推し進めようとする、さらには地域包括ケアシステム構築へ導くための国の施策と思われます。当院でも平成28年10月より入院前からの退院支援を積極的に行う「入院支援室」を医療連携支援センター内に新設し、一部診療科で試行開始しております。患者さんとの面談による療養生活に関する情報提供や患者さんの情報・状態を入院前から収集・認識することにより退院支援がより円滑になってきており、地域医療機関の皆様との早期連携につながるものと思っております。

今後は、入院される患者さんのみならず、通院されている患者さんに関しても更なる外来支援が必要であり、地域包括ケアシステムへの継ぎ目のない支援のためには病診・病病連携がさらに重要になってくると思われます。

地域医療機関の皆様におかれましては、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## TOPICS

- 医療連携支援センター長のご挨拶
- 診療科のご紹介  
胃外科 / 泌尿器科 / 産科・女性診療科 / 糖尿病・内分泌・代謝内科 / 総合診療科
- 医療連携支援センター 新メンバーのご紹介

## 医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談

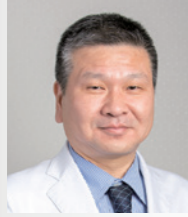




## 診療科のご紹介

当院では最新の手術支援ロボット、da Vinci Surgical System Xiを2017年に導入し、次世代の内視鏡下手術であるロボット支援下手術を開始しております。現在、泌尿器科、胃外科、大腸肛門外科の3診療科において、ロボット支援下手術を保険診療で行っております。また、周産・女性診療科は自費診療で開始しており、今後、呼吸器外科、食道外科、心臓血管外科などでロボット支援下手術を開始して行く予定となっております。

### 胃外科



小嶋 一幸 (こじま かずゆき) 科長

(日本外科学会認定 外科専門医・指導医、  
日本消化器外科学会認定消化器外科専門医・  
指導医)

胃外科は、胃の病気全てと、胃切除後の胆石症や鼠径ヘルニアなど、一般外科疾患の診断と治療を行います。特に胃癌の腹腔鏡下手術では、日本有数の症例数と治療成績を有しています。

#### ● 取り扱うおもな疾患

胃癌、胃GIST、胃・十二指腸潰瘍、胆石症、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、病的肥満症に対する外科治療

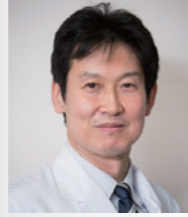
#### ● 高度な先進医療

腹腔鏡手術の黎明期より腹腔鏡下胃切除術を開始しており、1000例を超える治療実績を有しています。その経験を活かし手術の



難しい進行胃癌や胃全摘術に対しても腹腔鏡手術を提供しています。また、2018年4月よりロボット支援下胃切除術が保険適応となりました。当院は施設基準を満たしており、ロボット支援下胃切除術も保険診療で受けることができます。

### 泌尿器科



藤井 靖久 (ふじい やすひさ) 科長

(日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医)

当科では泌尿器がんのガスレス・シングルポート・ロボサージャン手術、浸潤性膀胱がんの膀胱温存、腎がんの無阻血・無縫合腎部分切除、前立腺がんの部分治療など、オリジナルな治療法の開発と洗練を進めています。同時に、世界の標準的低侵襲手術である、ロボット支援手術(ダビンチ手術)も導入し、あらゆるニーズに応える医療を提供します。

#### ● 取り扱うおもな疾患

前立腺がん、腎がん、膀胱がん、腎盂・尿管がん、副腎腫瘍、精巣がん、後腹膜腫瘍、前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿路結石、尿路感染、尿失禁、骨盤臓器脱

#### ● おもな診断・治療法

前立腺がん: ダビンチ前立腺全摘除、ミニマム創ロボサージャン前立腺全摘除、MRI-超音波融合ガイド下前立腺生検、全機能温存部分小線源治療

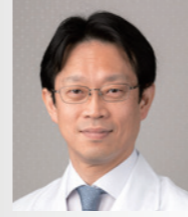
腎がん: ミニマム創ロボサージャン無阻血腎部分切除

膀胱がん: 浸潤性膀胱がんの膀胱温存(放射線+化学療法+ハイブリッド・ミニマム創ロボサージャン膀胱部分切除)、ミニマム創ロボサージャン膀胱全摘除

骨盤臓器脱・尿失禁: 膀胱鏡下仙骨脛固定術、TVM手術、人口尿道括約筋手術、TVT/TOT手術



### 糖尿病・内分泌・代謝内科



山田 哲也 (やまだ てつや) 科長

(日本内科学会認定 総合内科専門医、  
日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医)

メタボリックシンドロームや糖尿病を中心とする生活習慣病、肥満症、難治性高血圧、ホルモン異常により多彩な症状を呈する視床下部・下垂体疾患、副腎疾患、膵・消化管ホルモン産生腫瘍などの難治性内分泌疾患を対象として、最新知識に基づいた論理的な診断と、病態生理および生活環境を踏まえた全人的治療を実践しています。

#### ● 取り扱うおもな疾患

糖尿病(1型、2型、二次性)、高血圧(本態性、二次性)、肥満症、視床下部・下垂体疾患、副腎疾患、甲状腺疾患、カルシウム代謝異常、膵ホルモン産生腫瘍、性腺機能異常

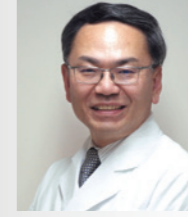
#### ● 高度な先進医療

当科と泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、病理部が連携して



「副腎腫瘍治療ユニット」を形成しています。泌尿器科にて開発された先進医療「ミニマム創内視鏡下手術」に基づき、当科では副腎腫瘍の術前診断・術後フォローを担当しています。診断・治療に難渋する糖尿病や内分泌疾患、二次性高血圧など疑い例も含めてお気軽にご紹介下さい。

### 総合診療科



竹村 洋典 (たけむら ようすけ) 科長

(米国認定家庭医(総合診療医)、  
日本プライマリ・ケア連合学会認定 プライマリ・ケア  
認定医、日本内科学会認定 総合内科専門医、  
日本医学教育学会 医学教育専門家)

2018年7月より東京医科歯科大学医学部附属病院に設立された総合診療科に着任いたしました。目の前の患者さんはもちろん、そのご家族や地域との連携も考慮し、地域の医療・福祉との連携を重視します。院内外の専門診療科や他の医療施設、そして保健・福祉の部門との連携を重要視しています。診断や治療のみならず、外来患者さん向けの生活習慣病教室などを開催しています。

#### ● 取り扱うおもな疾患

診断がつかない、または多くの疾患がある、多臓器に係るような疾患に罹っていらっしゃる患者さんで、専門診療よりも当科がふさわしいと考えられる場合に、年齢や性別、臓器を問わず、診させていただいております。高度で特殊な医療や治療は行えませんが、高齢者がかかりやすい疾患の診療や漢方による治療も行います。



## 医療連携支援センター 副センター長就任のご挨拶



副センター長 沼沢 祥行 (ぬまさわ よしゆき) 総合診療科助教

2018年5月より、医療連携支援センター副センター長を拝命いたしました。これまで当院神経内科助教として診療・研究に従事する一方で、非常勤医師として在宅医療にも関わってまいりました。大学病院へ通院・入院する患者さんの中には、病態そのものが複雑であることに加え、地域に生活している中で多問題を抱えている方が少なくありません。学生、研修医、若手医師の指導に際して、専門診療あるいは疾患に注力するのみならず、現実の多問題に対応するために、在宅医療の経験を生かすことを心がけてまいりました。今後はセンターの中でこれらの経験を共有し、地域連携・入院支援に尽力したいと存じます。



副センター長 角田 由美子 (つのだ ゆみこ) 看護部看護師長 認定看護管理者

2017年4月より医療連携支援センターの配属となり、2018年5月より副センター長を拝命いたしました。今まで病棟看護師として、また看護管理者として入院患者さんのケアに携わってまいりました。さらに、看護部や医療安全などの管理部門では、患者さんに安全な医療と看護が提供できるようスタッフの育成や、病院全体の医療安全に関する改善活動等を多職種と連携して行っていました。治療を継続しながら、あるいは障害を抱えたまま社会生活に戻る患者さんとそのご家族と共に、看護師として取り組んできたことや、安全な医療と看護が提供できるよう多職種と協力をしながら取り組んできた経験は、患者さんの療養生活の入り口から地域への橋渡しまで、多岐にわたる業務を担う医療連携支援センターでの活動に活かせるものだと思っています。

### 医療連携支援センター新メンバー

西 あさみ (にし あさみ・写真左)

◆医療福祉支援室

一日も早くお役に立てるよう、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

吉野 愉美 (よしの ゆみ・写真中央)

◆医療福祉支援室

ソーシャルワーカーとしてより良い支援が出来るように頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

名取 菜摘 (なとり なつみ・写真右)

◆病棟支援係

他職種の方々と連携をとりながら、皆様のお力になれるよう頑張ります。



### 周産・女性診療科



宮坂 尚幸 (みやさか なおゆき) 科長

(日本産科婦人科学会認定 産婦人科専門医)

女性の一生を通じての生理的・病的な現象に対処しています。ハイリスク妊娠・分娩の管理、婦人科腫瘍の手術・化学・放射線療法、腹腔鏡下手術療法、ロボット支援下手術、難治性不妊に対する生殖補助医療、更年期女性に対する総合的診療などに良好な治療成績を得ています。

#### ● 取り扱うおもな疾患

合併症妊娠・分娩、ハイリスク妊娠・分娩、婦人科悪性・良性腫瘍、難治性不妊(一般不妊治療、体外受精・胚移植・顕微授精)、がん・生殖医療(未受精卵子凍結、卵巣組織凍結、精子凍結)、不育症、更年期障害など。



#### ● 高度な先進医療

周産期専門外来での超音波検査による胎児診断、NICU・GCUを利用し、かつ総合病院の特性を生かした合併症妊娠やハイリスク妊娠・分娩の管理、婦人科悪性腫瘍の術後化学療法、高レベルの腹腔鏡下手術、IVF-ET・顕微授精などの生殖補助医療、専門学会認定医による更年期・老年期女性医療など。